

議会だより

No 177

令和5年
10月31日発行



令和5年度 一日子ども議会

令和5年 9月定例会

令和4年度 決算認定 (一般会計・各特別会計)

令和5年度 補正予算可決 (一般会計・各特別会計)

■ 決算質疑	3
■ 可決された議案	4
■ 提出議案と議員の賛否	5
■ 一般質問	7～15

一般質問 【9人の議員が町の考えを問う】

- ・ 新村貴紀議員
- ・ 松島茂喜議員
- ・ 松村 潤議員
- ・ 神山 均議員
- ・ 佐藤富代議員
- ・ 武井清二議員
- ・ 蟹和孝一議員
- ・ 原 義裕議員
- ・ 瀬山 登議員

邑楽町議会のホームページに
アクセスできます

議会だよりなど議会に関することや
本会議の様子を動画による録画配信で
ご覧いただけます



9月定例会

令和4年度の決算を認定

一般会計 歳入総額 117億7,228万円
歳出総額 112億1,244万円
町税収入43億782万円（歳入総額の36.6%）

一般会計決算額は、歳入総額が前年度と比較して、1億268万円の増額となりました。国庫支出金、町債、分担金及び負担金等が減少した一方、町税、諸収入、寄附金等が増加したことにより増えました。増加の主な内容は、町民税が4億2019万円、諸収入が2億3878万円、寄附金が1億1974万円増加したこと等です。

町税収入は43億782万円で、歳入総額に占める構成比は、前年度より3.3%増加の36.6%となりました。収納率は、現年課税分で見ると令和2年度96.0%、令和3年度99.1%、令和4年度99.1%と推移しています。令和3年度の収納率と同率となり、高い収納率を維持しています。歳出においては、予算額118億7805万円に対し、決算額は112億1244万円であり、執行率は94.4%となっています。前年度の執行率は92.3%であり、2.1%の増加となっています。令和5年度への繰越額は2億4456万円、不用額4億2105万円であり、繰越額を除く執行率は96.4%となっています。年度途中での国庫補助金の追加交付や国の物価高騰対策などがあり、予算要求の難しさなどがありますが、今後も年度内に事業を完了できるように一層の努力を求めます。



学校環境改善事業で全小学校の体育館にエアコンが設置された

9月定例会では、令和4年度の一般会計決算をはじめ、各特別会計の決算が提出されました。各常任委員会において審査を行い、14日の本会議で各会計とも認定されました。

増加、商工費はコロナ禍における物価高騰対策として行った邑楽町プレミアム付商品券（電子地域通貨）事業の増額等により2億8950万円の増加、教育費は社会教育施設建設基金への積立等により1億5940万円の増加によるものです。令和4年度の一般会計の概要については、以上のとおりであり、実質単年度収支は黒字となりました。コロナ禍の経験による住民意識の変化やAIの普及等により求められる行政サービスも大きく変化しています。町民の声を身近に聞き、新たな問題解決に向けたチャレンジが求められています。最小の経費で最大の効果を挙げるよう、デジタルトランスフォーメーションの推進等による、住民サービスの向上、各事業運営の改善や効率化をより一層推進されるよう要望します。（監査委員による決算審査意見書抜粋）

令和4年度決算額

会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	117億7,228万3,129円	112億1,244万3,759円	5億5,983万9,370円
国民健康保険特別会計	31億3,817万5,663円	29億2,191万5,755円	2億1,625万9,908円
後期高齢者医療特別会計	3億8,296万2,263円	3億8,145万9,018円	150万3,245円
介護保険特別会計	22億5,700万6,740円	20億2,206万1,839円	2億3,494万4,901円
下水道事業特別会計	4億6,685万7,306円	4億2,714万5,371円	3,971万1,935円

決算の
主な質疑（要旨）

一般会計、各特別会計の決算にあたり、行政効果などについて質疑が行われました。

- Q 瀬山 登議員** 毎年あいあいセンターから電気料を定額徴収している。妥当性に欠けると思うが。
- A 町長** 正確に納めていた必要があるが、その中身の契約がどうなっているか、詳細を承知していない。担当に調査させ正確性を持った納入金につなげたい。
- Q 神山 均議員** 職員研修事業の研修内容は。
- A 総務課長** 専任講師を招いての人事評価研修や法令の執務基礎研修等を行っている。また、館林市、邑楽郡の1市5町による地域課題合同研修も実施している。
- Q 塩井早苗議員** 保育園には、国による保育士の配置基準がある。総トータルで基準を満たされても、早番・遅番等を加味すると、保育士の労働環境は大変な状況だが改善されていない。
- A 町長** いろいろな面で大変課題はあるが、配置基準の遵守に努めていきたい。
- Q 武井清二議員** おうらお知らせメールは、有効的だが人口の約10%しか登録がない。LINEは生活と密接に関わっている。電子申請等サービスの拡張や登録増加になると思うが。
- A 町長** 必要なものは即対応するよう検討したい。
- Q 佐藤富代議員** 保育士の雇用形態は、正規職員、会計年度任用職員、派遣職員とあるが、ワークライフバランスを考えた管理の課題は。
- A 子ども支援課長** 派遣職員、会計年度任用職員は残業が難しく、長時間の現場ではローテーション組みの困難がある。
- Q 松島茂喜議員** 農工商の連携をまずスタートさせてシステムづくりをしていくことが必要不可欠ではないか。
- A 町長** JAもいろいろと研究をしていただけていると思うが、今後行政もJAと十分協力をして、環境づくりに努める。
- Q 新村貴紀議員** 総務省より、会計年度任用職員制度の適正な運用等について通知があった。町長はこの通知を理解し、各部署に対して適切に対応を取るよう指示をしているか。
- A 町長** 各部署に対して、総務省の通知に基づき適正な処理を指示している。
- Q 松村 潤議員** 各学校の図書室への新聞の配備状況について。小学校は2紙、中学校は3紙と目標が定められているが、現状は、
- A 学校教育課長** 現在は、1種類の学校が多いが、種類を増やす検討をしている。

可決された議案

【人事案件】

行政不服審査会委員の委嘱

行政不服審査会委員の委嘱について同意しました。

高木祥充さん（太田市）

近藤雅義さん（狸塚）

吉田訓子さん（藤川）

情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱

情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について同意しました。

高木祥充さん（太田市）

近藤雅義さん（狸塚）

吉田訓子さん（藤川）

教育委員会委員の任命

教育委員会委員の任命について同意しました。

岡田真幸さん（篠塚）

【条例改正等】

邑楽町職員の配偶者同行休業に関する条例

地方公務員法が改正され、「配偶者同行休業制度」の創設に伴い、条例を制定しました。

損害賠償の額を定めること

令和5年度固定資産税・都市計画税の課税において、納税義務者の指定を誤ったことで生じた損害賠償の額を定めました。

邑楽町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正

「国の子ども・子育て支援交付金の対象となる放課後児童健全育成事業の内容について定める通知」の改正に伴い、条例の一部を改正しました。

邑楽町児童保育審議会設置条例の改正

「子ども・子育て支援法」の改正に伴い、条例の一部を改正しました。

邑楽町介護保険条例の改正

令和3年度から令和5年度までの介護保険料の減額賦課を適用するため、条例の一部を改正しました。

邑楽町公共下水道事業の設置等に関する条例

総務大臣通知に基づき、地方公営企業法の規定の一部を適用し、会計方式を切り替えるため、条例を制定しました。

町道路線の認定

民間開発により整備された道路の町への帰属に伴い、町道路線の認定を行いました。

【報告】

令和4年度健全化判断比率及び資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、町の財政状況が健全であることが報告されました。

令和5年度補正予算額（9月）

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	95億3,347万円	7億0,128万円	102億3,475万円
国民健康保険特別会計	27億1,043万円	2億2,532万円	29億3,575万円
後期高齢者医療特別会計	3億9,794万円	151万円	3億9,945万円
介護保険特別会計	22億8,305万円	2億4,046万円	23億2,351万円
下水道事業特別会計	4億4,100万円	0円	4億4,100万円



令和5年第3回邑楽町議会 定例会 提出議案と議員の賛否

議案等	議席番号														結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	議員名														
	山本裕子	三ツ村由紀	武井清二	新村貴紀	神山均	蟹和孝一	佐藤富代	小久保隆光	黒田重利	瀬山登	松島茂喜	塩井早苗	原義裕	松村潤	
第3回定例会（9月）															
報第1号	令和4年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について														—
同意第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	同意
同意第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	同意
同意第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	同意
同意第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	同意
同意第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	同意
同意第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	同意
同意第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	同意
議案第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
認定第1号	○	○	○	×	○	欠	○	○	議	○	○	○	○	○	認定
認定第2号	○	○	○	○	○	欠	○	○	議	○	○	○	○	○	認定
認定第3号	○	○	○	○	○	欠	○	○	議	○	○	○	○	○	認定
認定第4号	○	○	○	○	○	欠	○	○	議	○	○	○	○	○	認定
認定第5号	○	○	○	○	○	欠	○	○	議	○	○	○	○	○	認定

※ ○…賛成 ×…反対 欠…欠席
議…議長（議事進行を行う議長は採決に加わりません。賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否を表明します）

令和4年度 健全化判断比率及び資金不足比率

健全化判断比率	邑楽町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 財政規模に対して、一般会計などが出した赤字額の割合	算定されず	14.36%	20.00%
連結実質赤字比率 財政規模に対して、町の持っている全会計が出した赤字額の割合	算定されず	19.36%	30.00%
実質公債費比率 財政規模に対して、借入金（地方債）の返済額（公債費）の割合	6.7%	25.00%	35.00%
将来負担比率 一般会計などが将来負担しなくてはならない負債額の割合	算定されず	350.00%	

資金不足比率	邑楽町	経営健全化基準	備考
公営企業の事業規模における資金の不足額の割合	算定されず	20.00%	下水道事業特別会計での算定

※黒字の場合「算定されず」で表示され、町の財政が健全であることを示しています。

町政を問う

一般質問

一般質問は、9月6日及び7日に行われました。質問には、9人の議員が登壇し、町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

■ 学生通学定期補助について	新村貴紀議員	7ページ
■ 教育・子育て支援について	神山 均議員	8ページ
■ 可燃ゴミ袋の指定制について	蟹和孝一議員	9ページ
■ 県道20号線の振動問題について	松島茂喜議員	10ページ
■ 带状疱疹予防接種費用助成制度の活用	佐藤富代議員	11ページ
■ これからの町政運営について	原 義裕議員	12ページ
■ 子ども・子育て支援について	松村 潤議員	13ページ
■ 未来を見据えた産業誘致の必要性について	武井清二議員	14ページ
■ 邑楽町農業者の未来を考えて	瀬山 登議員	15ページ

一般質問



新村 貴紀
議員



学生通学定期 補助について

問 現在急激な物価高騰の中、金子町長の英断により、本年9月より給食費の第2子から無料化を実施したことは、子育て世代への経済的に大きな助けとなり、子育て世代の町民はこの支援に関して歓迎している。

しかし、小学生・中学生までの支援はあるが、まだ高校生・大学生を対象とした支援が少ない状態である。そこで高校生・大学生の保護者への子育て支援として、町ではほとんどの学生が通学に際して、電車を使っているということである。県内他地域の富岡市では通学定期券代の補助を行っている。上信電鉄道を利用するという条件もあり、鉄道への

利用も含め促進している。邑楽町にも東武小泉線があり、搭乗客が増えないという状況で赤字路線のため、少しでも搭乗者数を増やす必要がある。定期券の補助をすることは、かなりの家計負担軽減にもなると思うが、このようなことに関して担当課長としてどのような意見があるかお聞きしたい。

答 **学校教育課長** 現在、町が実施している高校生以上への就学支援は2つある。1つ目は、経済的な理由によって、高等学校等に就学することが困難な生徒の保護者に対して、保護者からの申請に基づき、就学援助費を支給している。就学援助費では、通学費への

の援助も含まれている。2つ目は、進学の意味を有する者で、経済的な理由により就学困難な者に対して、入学準備金、または奨学金の貸付けを行っている。申請受付後に貸付資格の審査をして、いずれも無利子での貸付けとなっている。通学支援への取り組みを検討する場合には、目的が子育て支援なのか、移住・定住の促進なのか、関係をどう整理するかなど、関連する部署とつながっての調査研究が必要であると考えている。

問 大体定期券の20%、上限月2千円ということころがほとんどである。他市町村がやっていることと同じことをやるべきではないかと思うが町長の意見を伺いたい。

かと思うが町長の意見を伺いたい。

十分研究が必要だと思う

答 **町長** 電車で通学されている人に対しての通学費というのは、その地域によって上下はあり、一般の通勤、通学費に対して、定期券ということになり、6割ぐらいの軽減がされている。現段階ではその補助をするかしないかについては十分研究が必要だと思う。

問 統計調査等により人数把握も行ったうえで、予算規模がどれくらいになるのか調査することが必要だが、そこもちゃんと検討したうえで、今後、答えを出していただきたい。

答 **町長** 検討していきたい。

【その他の一般質問】

- ・社会福祉協議会へのガソリン補助について
- ・今後の邑楽町の未来について



ICカード定期券



神山 均
議員



教育・子育て
支援について

問 保育園・幼稚園等の防犯カメラの設置状況について伺いたい。

答 子ども支援課長 防犯カメラは、南保育園・中央保育園及び中野幼稚園・長柄幼稚園では、平成26年度に設置し、おうらこども園では、平成26年度と平成27年度に設置した。カメラの映像はモニターに映し出され、監視することができ、その映像はハードディスクレコーダーに録画している。

問 小学校・中学校の防犯カメラの設置状況について伺いたい。

答 学校教育課長 小学校・中学校は6校あるが、全校に平成25年度に防

犯カメラを設置した。モニターによる監視方式で、その映像は、ハードディスクレコーダーに録画している。

問 これまで全国の小学校等で、事件の報道を幾度となく目にしてい

る。ある事件を経験した教諭は「不審者が学校に入り、刃物を振り回すという事態を自分事として捉えている」と、別の教諭は「事件の前までは教育をどうするかばかりを考えてきた。だが、子どもの命を預かっているという当たり前の意識が事件で根底から揺らいだ。教育に関わっている以上、その意識がいつも問われている」という記事を読んだことがある。学校施設

での教育者の危機管理意識はもろろのこと、安全安心な施設管理の重要性は言うまでもない。そこで町長に伺う。小学校・中学校・保育園・幼稚園等の防犯カメラの増設、さらに、警備員の配置等の警備強化が必要だと思うが。

答 町長 防犯カメラを設置することによって、犯罪に対しての抑止力というの十分働く。警備員については、それぞれの施設において、日常の管理体制は充分に取られている。現段階で防犯カメラの設置、警備員の配置は現場の状況を聞いた中で、必要性があれば、当然問題意識として上がってくるわけで、その時点で考えていく必要がある。

問 幼稚園等の月給制の会計年度任用職員は勤続3年目までは昇給する。4年目以降も勤続年数に応じて昇給できないか。

答 総務課長 現在のところ、3年間の昇給制度については今後も維持していきたい。

問 町への通学道路等の信号機設置の要望件数や設置状況は。

答 総務課長 過去の設置要望は、令和3年度から5年度まで各年度1件あるが、まだ設置されていない。

問 地域から要望のある信号機設置の実現に向けて、もっと推し進めてほしいが、町長の見解は。

答 町長 通学道路等の安否が保たれない、担保されないということであれば、積極的にお願いをするなどの対応を今後も進めていきたい。



押しボタン式信号機

【その他の一般質問】
・福祉・介護について
・財政・産業振興について

一般質問



蟹和 孝一
議員



可燃ゴミ袋の 指定制について

問 町では、週2回の可燃ゴミの回収が行われているが、このゴミ袋について指定化や有料制のプランがあるのか伺う。

答 **建設環境課長** ゴミ袋の指定化や有料制についての予定はない。町では町民のご理解とご協力をいただき、ゴミの分別が順調に進んでいる。管内で唯一、令和3年度、令和4年度と一般廃棄物処理基本計画で定めた家庭ゴミが処理場に搬入される目標値を達成し、搬入量も年々減少している状況である。

問 一番の目的は、ゴミの減量化にある。分別の必要性や、コスト、それらにおける意識の向上にある。

さらなる減量化への取り組みを聞きたい。

答 **建設環境課長** 可燃ゴミの減量化については、町としても必須のことであると考えている。町では令和3年度にゴミの分別拠点施設として、中央公民館西側にリサイクルステーションを開設した。さらに、今年度は旧中野公民館敷地内に第2リサイクルステーションを開設して、ゴミの資源化を促進し、可燃ゴミの減量化に努めている。

問 限りある資源の再利用、サーキュラーリサイクルの推進、それに環境保全、二酸化炭素の削減のためにもゴミの総量規制等も考えられるが。

答 **建設環境課長** 量を制限することについては、現状では考えていない。導入している自治体の状況を確認し、その効果等を検証していきたいと考えている。

問 現在指定ゴミ袋制を実施している太田市や足利市の効果は大きい。町も減量化に取り組んでいるが、ぜひ取り入れるべきではないか。全国のスーパーや量販店でもレジ袋は有料制が定着し、今がチャンスだと思うが。

答 **建設環境課長** 太田市や足利市では導入時にその効果が大きく見られたと伺っているので、その効果の検証は必要かと考えている。

問 清掃センターが大泉町から太田市に移動したが、効率的にはどうか。

答 **建設環境課長** 太田市のクリーンプラザが稼働するまでは、大泉町外二町清掃センターへ搬入していたが、太田市へ搬入することから収集車を1台増やして対応した。このため、運搬委託料等にかかる費用面においては、効率が悪くなった実情はあるが、ステーションからの少しでも早いゴミの回収に努め、町民にご迷惑がかからないような対応を取ったところである。

問 町長の考えを伺う。

答 **町長** ゴミの減量化については、町民のご協力を得て、リサイクル等も進め、引き続き一層そのような形で努力をしていきたい。



可燃ゴミ収集



太田市外三町クリーンプラザ



松島 茂喜
議員



県道20号線の 振動問題について

問 県道20号線の中野向地の信号から本中野駅に向かう道路であるが、近隣住民から大きな振動があり、改善してほしいという要望書が提出されている。

これまでの経過について伺う。

答 建設環境課長 令和3年10月8日付けで地元区長と土木委員の連名により、町長に要望書が提出され、同年11月19日付けで町長名により、道路整備推進についての要望書を館林土木事務所長に提出した。その後、改善が図られないため、今年7月3日に沿線の区長5名での連名により、県へ積極的な働きかけをするよう要望書が提出された。建設環境課では、今年

8月21日から23日にかけて

振動規制法に基づき振動測定を3地点で行った。結果は環境省で定める限度内であったが、昼間の最大値は、堀田橋南地点で81デシベル。夜間は、群馬銀行と7区民館で79デシベルを計測した。また、県では、舗装の強度や支持力を把握するためのFWD調査を実施したが、まだ結果は出していない。

問 最初に要望書が提出されたから振動測定、FWD調査まで随分と時間がかかったが、何故か。

答 建設環境課長 町から県への確認が不足していた。改善が図られなかったことについては、十分反省したい。

省したい。

問 そもそも、振動規制法第19条では、振動測定は市町村が行う事務と定められている。しかし、地元住民が、町から借りた振動計で測定し、その数値も付けて最初の要望書を提出していた。ここで町長がとるべき対応は、町ですぐに測定をし直し、知事に対応を求めることであつたが、それがなされていなかった。さすがに地域住民も限界だということ、今年選挙直前に私にも話があつた。県道であるため、森県議会議員にすぐに動いていただき、ようやく調査がされたというところである。本来調査を行うべき町長が、相応の措置を行なっていれば、ここまで時間がかかることはなかったのではないか。

答 町長 長時間かかってしまったことについては、お詫びしたい。地域の皆さんに大変な思いをさせてしまったことについては、これからそういったことがないように、努めていきたい。

お詫びしたい

答 町長 長時間かかってしまったことについては、お詫びしたい。地域の皆さんに大変な思いをさせてしまったことについては、これからそういったことがないように、努めていきたい。

問 ここは、通学路でもあつた。道路の損傷状況が影響し、中野小学校の生徒に万が一事故があつたら大変なことになる。その可能性はゼロではなく、日を増すごとに高まっていく。振動調査では、要請限度を下回っているが、一時的な数値では大きく超えている。他の地点でも測定する必要もあるのではないか。

答 建設環境課長 FWD調査の結果によつては、再度測定を考えている。なお、今後も県には、町として舗装改修等、道路整備の推進について要望していく。

※FWD調査

(Falling Weight Deflectometer)

…おもりを落下させて路面に衝撃を加え、発生するたわみを複数のセンサーで測定する調査

【その他の一般質問】

- ・金子町長の政治姿勢について
- ・教員の多忙化について



県道20号線の損傷状況（ウエルシア東付近）

一 般 質 問



佐藤 富代
議 員



帯状疱疹予防接種 費用助成制度の活用

問 今議会において带状疱疹予防接種の費用助成に関する予算を承認、10月から実施が決まった。带状疱疹予防接種とは。

答 **健康づくり課長** 子どももの頃に感染して体内に潜んでいた水疱带状疱疹ウイルスが、免疫力の低下によりその活動を再開し発症する。症状は皮膚の水疱と神経の痛みであるが、皮膚症状が治った後も眠れないほどの神経痛が長期間残ることがある。加齢と共に带状疱疹発症のリスクが高まる。ワクチンの接種により発症を予防し、発症しても軽症で済むことが期待できる。

問 ワクチン接種の助成について。

答 **健康づくり課長** 2種類のワクチンがあり、生ワクチンは1回接種で効果は5年程度、助成は4千円である。不活化ワクチンは2回接種で効果は9年以上、助成は1回につき1万円である。50歳以上の人が対象で10月1日から助成が開始される。

問 申込み方法について。

答 **健康づくり課長** まず助成金の交付申請、予防票と接種済証を持って医療機関で接種を受ける。医療機関では接種料金から助成額分を引いた金額を支払う。ただし、館林市邑楽郡医師会以外の医療機関では

全額支払い、助成額分は償還払いのため領収書の提出が必要となる。

問 その周知について。

答 **健康づくり課長** 広報おうら10月号やホームページ、おうらお知らせメールに掲載する。ポスターは町立公民館や町民体育館等に掲示、町内医療機関へのポスター掲示も予定している。

問 任意の接種において町民の受診行動を促す取り組みについて。

答 **健康づくり課長** 多くの町民の目に留まるようにポスターを活用する。定期接種ではないので推奨することは難しいが、受診

のきっかけとなるような機会を見つけて働きかける。例えば、町民の集まりの場を借りて説明も考えていきたい。問い合わせには懇切丁寧に対応する。带状疱疹予防接種、助成方法について説明したい。

問 ワクチン接種ができる医療機関は。

答 **健康づくり課長** 実施機関は、館林市邑楽郡医師会では60医療機関、町内においては9医療機関の予定である。接種にあたり予約が必要な場合や取り扱うワクチンが1種類という医療機関もある。問い合わせ

問 健康づくり事業や介護保険事業には、医師会との連携、各専門職の協力が必要と考えるが。

答 **町長** 各事業に関連し協議会を設置している。委員に医師会、歯科医師会、薬剤師会の代表及び公募による町民が参加し協議する。それぞれの立場からの意見を事業に反映していると思う。



带状疱疹予防接種で健康な暮らし



原 義裕
議員



これからの 町政運営について

問 町長が就任以来、どんな事業をやったのか聞きたい。

答 町長 平成19年に就任が計画されており、その後、地権者に協力いただき開通した。また、中央公民館が計画され、必要の是非が問われたが完成した。その1年後には約11万人の人に生涯学習の場として、利用していただいている。

問 今年も財政調整基金が3億3476万2千円計上された。

答 財政課長 令和5年度一般会計補正予算(第3号)を加えた残高は、約23億4590万円になる。

問 私は同じ質問を10年くらい続けている。町長は15億円くらい残せば災害が起きても解消できると言っていた。

答 町長 財政調整基金は、緊急な災害、あるいは緊急の疾病等が発生した時に、基金・貯金を利用したい。今後、積極的に使っていく考え方もある。

問 いつ体育館の建設が始まるのか。町営住宅を更地にして何年経っているのか。また、福祉センター寿荘も老朽化しており、耐用年数も過ぎてている。また、高島地区の石打大排水路の改修もある。世界的にも異常気象であり、湖のような状況になりかねない。

近い将来 改修していく

答 町長 体育館の建設については、議会でも認めていただき、特化した貯金を始めだが、相当の金額が必要になると思っている。西側に面した町営住宅の跡地についても効果的な利用を考えている。福祉センター寿荘の関係だが、耐用年数が37年ということに近い将来に改修する必要があると思う。石打の大排水路のしゅんせつについては、十分調査して実行していく考えでいる。

問 農家数が年々減っている。過去の推移を聞きたい。

答 農業振興課長 令和2年度の農家数は618件、販売農家数は379件。平成27年度と比較すると農家数では155件減少、販売農家は129件減少している。

問 上毛新聞の記事では、大泉町の国道354号線沿いに、スバルが電気自動車工場の計画しているとのことであるが、町ではどのような情報を持っているのか。

答 町長 公式には聞いていない。町としては、排水が下流になるので慎重に対応していく。

問 すでに、建設会社等が動いて地権者とも話ができているようだ。大泉町が工業団地を354号線の西側に造るのであれば、邑楽町にも工業団地が造成できると思うが。

答 町長 この地域が、農業振興地域ということ

で問題が多くある。しかし、産業団地が、計画できるような環境になりつつあると思う。



老朽化する福祉センター寿荘

一般質問



松村 潤
議員



子ども・子育て 支援について

問 本町では妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の提供を目的として、令和2年に子育て世帯包括支援センターを設置した。このセンターの機能と利用状況はどうか。

答 **健康づくり課長** 保健師等の専門スタッフが妊娠・出産・子育てに関するさまざまな相談に対応して、必要に応じて支援プランの策定や地域の健康医療・福祉の関係機関との連絡調整を行うなど、出産後の新生児訪問から各種乳幼児健診へと目標を立てながら子育てプランを作成している。また、センターの利用状況は、令和4年度は107件である。

問 保健師が保健センターの業務を兼務し、7人で対応しているが職員の増員を考えているのか。

答 **健康づくり課長** 国の子育て政策から業務量も増えている状況にあり、工夫をしながら現在の人数で頑張っている。増員の考えもある。

問 産後ケアを実施している医療機関等に委託し、育児不安への対応や母乳支援、レスパイト（母の休息）等を目的に助産師や看護師が産後の母子を支援している。

答 **健康づくり課長** 産前産後の面接や両親学級、また両者に重大な予後不良が予想される妊娠等リスクの高い妊産婦については訪問支援を実施している。産後については、産後ケアを実施している医療機関等に委託し、育児不安への対応や母乳支援、レスパイト（母の休息）等を目的に助産師や看護師が産後の母子を支援している。

問 改正児童福祉法では、子育て世帯に対する支援体制の強化として全ての妊産婦・子育て世帯・子どもへ一体的に相談支援等を行う機関として、令和6年4月から子ども家庭センターの設置が努力義務とされたが、町の考えは。

答 **健康づくり課長** 虐待リスクのある家庭を訪問し、状況を聞く中で虐待を未然に防ぐことができた。住民登録のない子の家庭を訪問しフードバンクの紹介や予防接種等が受けられるよう予防的な支援ができた。

問 子ども家庭センターの設置について、町長の見解を伺いたい。

答 **町長** 必要ということになれば、子ども家庭センターの設置も考えていかなければならない。現時点では研究させていただきたい。

答 **健康づくり課長** 虐待リスクのある家庭を訪問し、状況を聞く中で虐待を未然に防ぐことができた。住民登録のない子の家庭を訪問しフードバンクの紹介や予防接種等が受けられるよう予防的な支援ができた。

答 **健康づくり課長** 設置は未定である。子育て世帯包括支援センターの設置により、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援ができていく。



邑楽町の子ども・子育て支援事業計画



武井 清二
議員



未来を見据えた 産業誘致の必要性について

問 今後邑楽町はどこへ向かって町政を進めていくべきか、という観点に立つて提案も兼ねて質問したい。まず、町の第六次総合計画にも記載されている産業誘致の進捗状況を聞きたい。

答 **商工振興課長** 平成30年以降で誘致した企業はない。

問 問い合わせがあった企業数と誘致に至らなかった理由は何か。
答 **商工振興課長** 平成30年から現在まで22件の問い合わせがあったが、産業用地や空き物件がないため実現しなかった。

問 製造業に関しては、時間もコストもかかるインフラ整備が整わずに機会を失ったということだと思う。そこで提案したい。まずは企業誘致をするうえで、インフラ整備を必要としないI-T産業に特化してみてはどうか。近年デジタル化の推進やAIの開発が進み、急激な上昇トレンドを描いて成長しているのがI-T産業である。さらに進化したAIの普及が今後多種多様な分野と結びつき、限りない市場規模となることが予想されている。そして、このI-T産業に特化した誘致がイノベーションを起こし、町全体の産業の発展と経済活性化にもつながることが期待できる。町長の見解を

聞きたい。

I-T産業に特化した 企業誘致は大事

答 **町長** これからのI-T産業はかなりの勢いで成長していくだろうと思う。説明にあつたように、それに特化した企業誘致も町づくりのために大事だと考えている。

問 すでにI-Tに特化した企業誘致を行っている自治体は数多いが、邑楽町はそれら全国の自治体の中でも特に優れたポテンシャルを持っている。①北関東幸福度ランキング1位というブランド力②都心から1時間という立地③少ない災害リスク④全国最安レベル

答 **副町長** 非常に夢のある、希望の持てる提案だと思う。そのためには、やはりそういった企業と折衝できる専門スタッフは不可欠である。

答 **町長** 専門性がある職員は今後、特に必要になる。それが効率的な行政運営につながる。そして、指摘のあった町の良さをも

っと外にアピールすべきだと、まさにそのとおりだと感じた。

※AI
(Artificial Intelligence)
…人工知能を持つコンピューターシステムやソフトウェア



未来へつなげる新しい企業誘致

一般質問



瀬山 登
議員



邑楽町農業者の 未来を考えて

問 荒廃農地が増えているが、どれくらいあるのか聞きたい。

答 **農業振興課長** 平成27年度は110筆、9万865平方メートル。令和4年度は106筆、9万924平方メートルである。

問 平成30年に耕作放棄地の対応策を町長に一般質問をした。農地中間管理機構を通して国、県で約9割の費用負担制度があり、それを活用するとの回答であった。これまでの実績を聞きたい。

答 **町長** 結果については進展がない。一定の地域で10ヘクタール以上の土地改良的な制約があり、地権者と耕作者に相談協議す

るよう担当課長に指示をしている。

問 農業経営は大変である。農業資材は高騰して、農産品の価格は低迷している。国、県、町の補助金を頼りに農業を続けている。国の新規就農者支援制度があるが、町での活用状況を聞きたい。

答 **農業振興課長** 令和4年度から1人が利用している。上限額1千万円である。いろいろな要件がある。

問 町長 農業は大事な第一次産業で経営方法によって魅力ある産業であると思う。今、町には130人の認定農家がいるが、高齢の人もいる中で経営規模拡大に取り組んでいる人が多いと思う。いかにしたら農業経営が前に進むか認定農業者協議会の中の話合いで課題が見えてくる。同時にJAの営農指導や県の営農指導を通して積極的に行えば課題は解決すると思う。

答 **町長** 農業は大事な第一次産業で経営方法によって魅力ある産業であると思う。今、町には130人の認定農家がいるが、高齢の人もいる中で経営規模拡大に取り組んでいる人が多いと思う。いかにしたら農業経営が前に進むか認定農業者協議会の中の話合いで課題が見えてくる。同時にJAの営農指導や県の営農指導を通して積極的に行えば課題は解決すると思う。

問 町の農業者が廃業する時、その農地を地域で引き継ぐ人がいない状態である。新規就農者の育成等町長の考えを聞きたい。

されているのか担当課長に伺う。

答 **農業振興課長** 正式な数は、把握していないが、近隣から出耕作の人が多くなっている感じはしている。

問 圃場規模の拡大、農道道路と農業道路の混同使用で、非農家とのトラブルが起きている。対策として、農業団地化の推進を町長に提案したい。

答 **町長** 農業団地化は、必要であると思う。例えば1区画を30アールなり、50アールなりの形の圃場にして作業効率をよくすることとは、近隣の自治体でも最近発足式があった。効率的な農業経営のためには、地権者の協力を得て基盤整備をしていくことが大事だと思う。

基盤整備をしていくことが大事

問 魅力ある農業は、農業振興課の職員が本腰を入れて取り組まなくてはならない。担当課長はどう思うか。

答 **農業振興課長** 今後魅力ある農業に尽力したい。



水田地帯に木が生い茂る遊休農地



休憩室 The Lounge

祖母の弁当



松村 たけ子
(本郷江原・29区)

ある日、突然孫娘が我が家から専門学校へ通うと言いだした。それも3年間、週5日弁当を持って行くとのこと。それを聞いた瞬間、私は啞然とした。老後の楽しみが消えていく。何とも切ないことはないか。

「はい、お弁当箱よ」と渡されたものの昔とは違い、カラフルで盛り付けづらい容器ではないか。ガツカリ。

朝5時に起き、彩り、配置、見た目を気にしながら初日の弁当作りを終了した。

孫娘は祖母の初めての弁当にどんな表情をするのだろうか。楽しみである。

その時が来た。「ありがとつ」のひと言で弁当の蓋をして、学校へ行った。なんと素っ気ないことが。

夕食の支度をしていると、「ただいま」と空の弁当箱を出し、「美味しかったよ、サンキュー」そう言うなりニッコリ。私は思わずニヤリ。その後、孫娘は毎日感謝のひと言と笑顔で私の弁当作りを応援している。

議会のうごき

8月

- 9日 議会運営委員会
全員協議会
- 23日 議会運営委員会
邑楽町戦没者追悼式
邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 24日 総務教育常任委員会
産業福祉常任委員会
- 25日 全員協議会
- 28日 群馬東部水道企業団議会
- 31日 邑楽郡町村議会議長会議員研修会・
行政懇談会

9月

- 5日～15日
第3回定例会
(本会議、議会運営委員会、
各常任委員会、全員協議会、
議会広報委員会)
- 26日 大泉町外二町
環境衛生施設組合議会

10月

- 2日 議会広報委員会編集会議
- 4日 群馬東部水道企業団議会
- 10日 太田市外三町広域清掃組合議会
- 11日 議会広報委員会校正会議
- 20日 全員協議会
- 25日 群馬県町村議会議長会理事会
- 26日 邑楽郡町村議会議長会臨時会
- 30日 邑楽館林医療企業団議会

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は **12月25日** から **28日** を予定しています

(開会は原則、午前10時 一般質問は26日、27日を予定)

住所・名前・年齢を受付票に書くだけでどなたでも傍聴できます。
議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したもの)は、図書館、中央公民館、長柄公民館、高島公民館に置いてあります。
また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見ることができしますので、ご覧ください。

邑楽町議会

検索



詳しくは、議会事務局まで ☎47-5000

YouTubeにて邑楽町議会チャンネルを開設しました。本会議の様子をご視聴いただけます。

議会を傍聴して

邑楽町民生委員・児童委員協議会

民生委員・児童委員協議会では、令和5年9月14日に議会を傍聴しました。

当日は傍聴前に、議場や正副議長室、議員控室、委員会室等を見学しました。

議場内は、傍聴席以外は一般の人は入ることができませんが、今回は見学でき、床に敷かれた絨毯、議長や議員の椅子の座り心地など、その感触を確かめました。また、議場内の撮影方法や、本会議の様子はYouTubeで生配信されていることも説明を受けました。

その後、令和5年第3回邑楽町議会定例会の議案である令和4年度邑楽町一般会計歳入歳出決算認定についてを傍聴しました。

若い議員は今の時代のニーズに沿って、ベテランの議員は議員経験に則して、町民の代表として活発な質疑をしていました。それに



民生委員・児童委員協議会集合写真(議場にて)

対して、町長をはじめとする町職員も明確に回答している様子が印象的で、改めて感心させられました。

今回、議会を傍聴した参加者からは、「貴重な時間を過した。良い体験ができた」等の感想がありました。

議員や町長をはじめとする町職員の町民に対する思いに触れ、私たちも地域福祉向上のために一層努めていきたいと思えます。

常任委員会合同視察調査報告

総務教育常任委員会と産業福祉常任委員会では、7月10日に邑楽町立学校給食センターで視察調査を行いました。学校給食が提供されるまでには、生産・献立・調理に多くの人が携わり、子どもたちの成長を支えていることを確認しました。

また、同月20日には太田市外三町クリーンプラザとリサイクルプラザで視察調査を行いました。次々に搬入される可燃ごみの多さに驚き、資源ごみの仕分け作業をする現場の過酷さを確認しました。

どちらの現場でも、多くの方が携わり、毎日、子どもたちのため、住民のために尽力している姿に敬服しました。議会では今回の視察が町政に反映できるよう、町と協力して参ります。



太田市外三町クリーンプラザ・リサイクルプラザ



邑楽町立学校給食センター

YouTube 生配信を開始

議会広報委員会では、町民の皆さまの議会に対する関心を高め、より開かれた議会を目指し、令和5年第3回定例会(9月定例会)から本会議の様子をYouTubeで生配信しました。

令和3年度、タブレット端末の導入によるペーパーレス化。令和4年度、一般質問における電子黒板の活用。令和5年度、YouTube生配信。タブレット端末の導入から始まった議会改革ですが、今後も研究を続け、より一層改革を進めて参ります。



福島県白河市

私

のふるさととは、福島県白河市です。みちのくの玄関口で白河の関がありました。奈良時代から平安時代にかけて人や物資の往来を取り締まる場所でした。今でも夏の高校野球決勝で白河の関越えが叶うかというように使われています。

最寄りの南湖公園は、享和元年（一八〇二年）白河藩主の松平定信が身分の差を越え庶民が憩える「士民共楽」の場として築造した日本最古の公園です。湖面

を中心に17の名所があり、私も幼少期に家族や友人と手漕ぎボートに乗った楽しい思い出があります。

ここには「太平無事」と書かれた石碑があります。当時は政治の腐敗や飢饉で苦しく、難局を住民が一丸となつて乗り越え、誰もが分け隔てなく安心して暮せる穏やかな世界になつて欲しいという、松平定信の願いが込められています。私は、邑楽町に居住して40年近くになります。地域で福祉の活動をし、住み慣



緑川 イツ子
(鶉新田・14区)

れた新しいふるさとと感じています。これからも町が「太平無事」「士民共楽」のように誰もが困り事なく安心して暮せるように助け合いの輪を広げていきたいと思っています。



おうらまち
議会だより

No.177



白河市 南湖公園

編集後記

新体制になってから、3回目の議会、2度目の一般質問が行われた。今回から新たな試みとしてYouTubeにて本会議の様子をライブ配信することとなった。傍聴したくとも足を運べない人や、町外はもとより県外、海外からも視聴することができる。その再生回数は多い日で2千回を超えている。驚きとともに、少しでも多くの人に興味を持ってもらえたことを大変うれしく思う。これを始まりとして、議会のさらなる見える化を図り、新しくクリーンな風を吹き入れていきたい。そして、より多くの人に喜んでもらえるような町づくりを議員一丸となつて進めていきたいと思う。

(山本記)



議会チャンネルを開設